

第10回水俣病事件研究交流 プログラム

1月10日(土) 12:30~受付

13:00 ~ 13:10 開会のあいさつ 花田昌宣 五十嵐松男

自由報告

報告20分 質疑応答5分

13:10	~	13:35	水俣市における川内原発再稼働と避難計画問題	大嶽 弥生 原発避難計画を考える水俣の会
13:35	~	14:00	病の民俗誌—石牟礼道子『苦海浄土』批評から	飯嶋 秀治 九州大学大学院
14:00	~	14:25	水銀条約の批准に向けた日本の課題	中地 重晴 熊本学園大学水俣学研究センター

14:25 ~ 14:35 自由報告の質疑応答

14:35 ~ 14:45 休憩

当事者の力、周囲の力

報告20分 質疑応答5分

14:45	~	15:10	「水俣」を伝えることから地域活動へ	田嶋 いづみ 「水俣」を子どもたちに伝えるネットワーク
15:10	~	15:35	水俣病事件から学んだ社会福祉 ~未来につながる取り組み ほっとはうす16年の歩み~	加藤 タケ子 社会福祉法人さかえの杜 ほっとはうす
15:35	~	16:00	「支援者」は何を見聞きし、支えるのか—精神保健福祉からみた驚きの水俣	三野 宏治 東京福祉大学 社会福祉学部
16:00	~	16:25	「事件」を解決できるのは「当事者・市民」の力	高見 優 ささえあいコミュニティ生活協同組合新潟
16:25	~	16:50	「水俣病全面解決をめざして」「2013.9.30提言と新潟の取り組み」	中村 周而 ノーモア新潟水俣病弁護団長

16:50 ~ 17:10 当事者の力、周囲の力の質疑応答

17:20 ~ 移動 各自

18:30 ~ 20:30 懇親会：プラスサード（新潟市中央区東大通1-1-1 第5マルカビル3F 025-243-3534）@4000円 要事前申込

第10回水俣病事件研究交流 プログラム

1月11日(日) 9:30～ 受付

水俣病の被害実態と認定制度

報告20分 質疑応答5分

10:00	～	10:25	大規模健康被害としての水俣病について	下田 守
10:25	～	10:50	阿賀野川の汚染は、昭和35年～40年末までか	関川 智子 新潟勤医協
10:50	～	11:15	阿賀野患者会が取り組んでいる潜在被害者の掘り起しによる診断を希望する新潟水俣病被害者の実態	酢山 省三 新潟水俣病阿賀野患者会
11:15	～	11:40	水俣病の認定棄却と水俣病患者の症状	斎藤 恒、萩野 直路、丸山 公男 新潟医療生活協同組合木戸病院/新潟青陵大学
11:40	～	12:05	水俣病認定患者（新潟）の毛髪水銀濃度と神経症状	丸山 公男 新潟青陵大学
12:05	～	12:30	芦北の漁村における毛髪・臍帯水銀値、健康障害、補償救済制度の連環	井上 ゆかり 熊本学園大学水俣学研究センター

12:30 ～ 12:40 水俣病被害実態と認定制度 質疑応答

12:40 ～ 13:20 昼食 お弁当 @500円 要事前申込

カナダ水俣病と水俣病訴訟の現在

報告20分 質疑応答5分

13:20	～	13:45	カナダ水俣病の現状と課題：2014年9月現地調査の報告	花田 昌宣 熊本学園大学水俣学研究センター
13:45		14:10	新潟水俣病第三次訴訟判決と新潟水俣病50年一問われるべきもの	高島 章 萩野 直路 新潟水俣病第三次訴訟弁護団長・新潟水俣病第三次訴訟を支援する会
14:10	～	14:25	水俣病第二世代訴訟の地裁判決の意味と今後	山口 紀洋 水俣病第二世代訴訟弁護団

14:25 ～ 14:50 水俣病訴訟の現在の質疑応答 と 全体を通じた質疑

14:50 ～ 15:00 閉会

15:30 ～ フィールドワークへ移動